

佐久市議会議員 議会報告

高柳 ひろゆき 通信

発行 高柳 ひろゆき後援会事務所 佐久市塩名田 558-6

電話 0267-58-4367 携帯 090-4613-0021

メールアドレス shionada5586@ybb.ne.jp



● ご挨拶

こんにちは、市議会議員の高柳です。

朝夕めっきり寒くなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回は第3回定例会議での気になった議決や10月に行われました経済建設委員会の行政視察また地元の予算案につきましてご報告申し上げます。

● 第3回定例会議 気になった議決（三河田工業団地用地のB区画売却について）

三河田工業団地用地売却につきましては、A、B 両区画を平成28年8月23日から9月30日までの間公募し、公募条件として、同一企業が両区画に申し込みはできない事としました。結果A区画は、榎山工業（株）1社のみの公募となり、B区画は公募がなく、市議会の議決を経てA区画は榎山工業（株）に売却されました。その後分譲に至らなかったB区画については、市内で製造業を営む企業であればどの企業でも公募できるとした所、榎山工業（株）と他の1社より公募があり、立地企業選定委員会（外部員2名と市の職員4名の計6名）での審査の結果、1億2千756万5206円で、榎山工業（株）へ売却され、結果として、A区画、B区画共に榎山工業（株）が取得する事となりました。

採点結果の評価項目の中の新規雇用状況の配点が40点と非常に高く、選定の明暗を分けたのは、この項目であることは、自明の理でした。この事実に納得がいかなかった議員より、多額の補助金（購入額の30%）を利用するからには、B区画としての新規雇用人員が明らかにされない以上、市民の皆様に対する説明責任が果たせないとの一般質問に対し、所管部長より佐久市公開条例に規定されている非開示情報に該当し、雇用に関する計画書は公開できないとの答弁があり、立地企業として選定した榎山工業（株）との土地売買契約調印式で、会社全体として90名程度の新規雇用を予定しているとお聞きしているとの事でした。

また市長より、一点の曇りもなく審査を行っているので、計画書の開示がなければ市民に対して説明責任が果たせないのであれば、※秘密会の発議をし、秘密会を開催し計画書の内容を確認の上で、決議をしてくださいとの答弁がありましたが、条件が整わなかったのか、結局秘密会は開催されることはなく、委員会で審査の後、原案可決に至り簡易表決されました。多額の税金が投入される以上、新規雇用の十分な創出を期待いたします。

※ 秘密会とは一般住民に公開することを、不適当と認めるときに、公開をしない会議であって一般住民の傍聴を認めないと同時に報道の自由をも制限するものです。議員3人以上の発議により出席議員、3分の2以上の特別多数議決が必要。

● 経済建設委員会行政視察報告（10月4日から10月6日の2泊3日で 鳥取・岡山で視察）

研修の中で、強く印象に残った取り組みのみ本通信にてご紹介いたします。

鳥取県日南町では、少子高齢化による人口減少に伴う地域コミュニティーの低下、農林業をはじめとする地域経済と生活基盤の弱体化、観光経済拠点の不足による集客力や情報発信不足の課題を克服すべく地域を創成させるコンパクトヴィレッジとして重点道の駅「道の駅にちなん日野川の郷」をオープンさせました。この施設の先進的な取り組みとして、カーボンオフセットというシステムを展開しています。これはお客様からお買い物いただいた商品1点につき1円を寄付していただき、その寄付金で森林整備事業を行い、森林のCO2吸収機能を高め、道の駅事業で排出されるCO2を相殺し、地球温暖化問題解決に貢献するものです。因みに昨年度は、22万2千869円の寄付があり、森林支援に充当されCO2吸収量換算で28トンとなり、日本初の環境貢献ができる道の駅として農林水産大臣より、カーボンオフセット大賞を受賞いたしました。また同町の森林は、森林の環境保全・生態系に配慮し、さらに経済的にも持続可能な、適切に管理された森林を国際的に認証する制度のFSC認証を受けており、道の駅建築に際しては、同町の木材が利用されています。日南町の取り組みは、環境の似た本市には先進地として非常に参考になりました。

● 地元に関連する下記補正予算案が可決されました。

- ①株式会社御馬寄育苗センターのコンバイン導入に対する県補助内示に伴う経営体育成支援事業補助金300万円
- ②浅科中学校体育館バスケットゴールワイヤー電動巻取機の修繕費480万円
- ③穂の香の湯の男湯、女湯の排煙窓の修繕費として200万円

下記の一般質問を行いました。

道の駅ほっとパーク・浅科の顧客利用向上を目指すには！

(高柳)

道の駅ヘルシーテラス佐久南との共存共栄についてお尋ねします。

(山崎地域局長)

7月8日にグランドオープンいたしました道の駅ヘルシーテラス佐久南とその西方約4キロに位置する道の駅ほっとパーク・浅科とは、相互の連携を図りそれぞれの指定管理者の民間ノウハウを十分に取り入れる中で利用者を引き付ける事業を展開し相乗効果を図ってゆく事が肝要です。市では整備構想の段階から道の駅など近隣の類似施設との連携を優先すべき事項ととらえ、指定管理者の募集に当たってきました。このような状況下、本年3月に両道の駅の指定管理者を交えて、相互の連携に関する打ち合わせを行いました。

この中で浅科地域特産品の五郎兵衛米や矢島の凍み豆腐を、ほっとパーク・浅科のみで販売ができないか等の検討をしました。五郎兵衛米については生産者が両施設への集荷を希望した場合は一方的に断ることはできないとの結論に至りました。

また、矢島の凍み豆腐については、もともと生産数が少ないので、ほっとパーク・浅科のみでの取り扱いが予想される事等を確認いたしました。

このほか共通イベントの開催や、ポイントカードの相互利用などの連携策の提案がなされ、今後具体的に検討してゆく事といたしました。現在ヘルシーテラス佐久南の指定管理者に於きましては、両道の駅で、秋の連続する土日にそれぞれ一日ずつ共通イベントの開催を検討しています。市といたしましても両道の駅の指定管理者と連携を図り双方の相乗効果を図るため、具体的な方策について随時検討の場を設けてゆきたいと考えています。

(高柳)

共通イベントの開催に当たり市としてはどこまで関与をするのか

(山崎地域局長)

ヘルシーテラス佐久南で「さんま祭り」を開催する計画があり、共通イベントとして検討するよう提案をしています。また、指定管理者同士で蜜に打ち合わせをしていただき、具体的内容について報告をいただいています。

(高柳)

指定管理者同士で打ち合わせの上、対応してゆくことで、理解いたしました。

(高柳)

施設の老朽化による改修についてお尋ねいたします。

(佐藤経済部長)

平成10年に整備され19年が経過した道の駅ほっとパーク・浅科は、老朽化も見られることから計画的に改修を進めているところです。市の所管する施設につきましては、現在、指定管理者との協定に基づいて、管理を行っております。

軽微な改修等は指定管理者が行い、大規模な改修等は所有者である市が行う事になっております。

そのような中で市が実施した、最近の大規模改修では、平成25年度と平成26年度において、郷土料理提供館の外壁全面を板張りからサイディングに張り替えるとともに、木製サッシからアルミサッシへの交換、デッキの一部補修を行っております。

また昨年度は、厨房で使用している給湯器の改修と業務用冷蔵庫の更新を行ったところです。

本年度については、施設内照明のLED化やワイファイの整備を計画しており、順次工事を進めていく予定です。

県が所管する休憩室、公衆トイレについても、老朽化がみられる事から、県に対して改修をお願いしていますが、改修には至っておりませんが、引き続き早期に改修していただくようお願いして参りたいと考えております。

今後に於きましても、道路利用者に快適な休憩と各種情報提供など、多様で質の高いサービスの提供及び、浅科地区の産業経済の発展と地域活性化の拠点となるよう、必要な改修等を計画的に進めながら、ほっとパーク・浅科の魅力の向上につなげて参りたいと考えております。

(高柳)

売店スペースからデッキスペースへ自由に往来できる導線の流れを改善し、売り場の拡張をお願いします。

お店の切り盛りは、最終的には指定管理者の企業努力が必要ですが、販売環境の整備につきましては、行政のバックアップが必要と存じます。顧客の満足度を満たし、両道の駅が切磋琢磨する事こそが、佐久の繁栄に結びつくものと推察いたします。



(道の駅 ほっとパーク・浅科)

◆上記以外の質問として、ジャパンブランド健康長寿推進事業における交流人口の創出について質問しました。